

事前評価書

		年度	R3
		整理番号	
事業名・路線名等		道路改築事業 主要地方道 庄内久住線(久住2工区)	
所在地		竹田市久住町大字久住	
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な歩行・通学路空間の確保、安全性、快適性の向上</li> <li>幅員狭小区間の解消と道路線形不良の解消(現況幅員:W=5.5m、路肩無し)</li> <li>旧久住町中心部(公共施設)へのアクセス強化</li> </ul>	
	事業内容	計画延長・幅員 L=150m(現拡)、W=6.0(9.75)m 第3種第3級 設計速度V=50km/h 交通量 2970台/日(H27センサス)	
	事業費	C=250百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から4年(令和6年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、設計 2年目 用地測量、用地買収 3年目 道路工事 4年目 道路工事	
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>久住小学校への通学路であり、歩道未整備による児童の通学に支障あり</li> <li>幅員狭小(路肩なし)、線形不良により現道の交通に支障あり</li> <li>竹田市久住町久住地区の地域住民の生活道路</li> <li>周辺観光資源(長湯温泉等)へのアクセスルート</li> </ul>	
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な歩行・通学路空間の確保</li> <li>旧久住町中心部(市役所等の公共施設)へのアクセス強化</li> <li>通行車両の安全性、快適性の向上</li> </ul>	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	交通安全事業のため費用便益比の算出が困難であり、道路利用状況等から総合的に判断する。	
	工法の妥当性	複数案の比較検討を行い、最も経済的な現道拡幅(切土)案を採用	
	コスト縮減	路盤材に再生骨材を使用	
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>現道拡幅であり、地形の改変による影響は小さい</li> <li>発生土は現場内流用、他の公共事業へ流用する</li> <li>低騒音・低振動対応の建設機械の使用により、生活環境に配慮する</li> </ul>	
事業実施環境	事業の実効性	竹田市は、大分県議会土木建築委員会へ事業着手の要望書を提出しており、協力体制は整っている。	
	事業の成立性	道路法第15条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施	
	事業の特殊性	-	
対応方針		以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい	

# 事業箇所位置図

凡 例	
地域高規格道路	
一般国道	
補助国道	
主要地方道	
一般県道	
未整備区間（幅員6m未満）	

